

資料提供	
平成30年2月15日	
担当	境港管理組合総務課 田中
電話	0859-42-3705

平成29(2017)年 境港の取扱貨物量について<速報値>

○全体貨物量は、366万3,290トン（前年比-2.3%）と減少。輸出貨物については、20万4,424トン（同10.4%）と増加し、輸入貨物については、184万7,272トン（同-2.3%）と減少した。

○コンテナ取扱貨物量（実入り）は **2万6,497TEU（前年比6.3%）** であり、これまでの最高だった平成28年の取扱貨物量（2万4,924TEU）を上回り、**過去最高**を更新した。

□全体貨物

- ・ 全体貨物量は、3,663,290トンと前年比-2.3%の減少。
- ・ 輸出貨物は、紙・パルプ、木製品等が増加したことにより、204,424トンと前年比10.4%の増加となった。輸入貨物は、木製品等が増加したものの、原木等が減少したことにより、1,847,272トンと前年比-2.3%の減少となった。
- ・ 移出は、木材チップ、重油等の増加により、203,663トンと前年比4.2%増加した。移入は、石油製品等が増加する一方、セメント等が減少したことにより、1,407,931トンと前年比-4.7%の減少となった。

□コンテナ貨物

- ・ コンテナ取扱貨物量は、26,497TEU、前年比6.3%増と過去最高であった平成28年の取扱貨物量（24,924TEU）を上回った。なお、航路別では、韓国航路23,758TEU（前年比10.3%増）、中国航路2,739TEU（前年比19.2%減）であった。
- ・ 輸出は、紙・パルプ、木製品等が増加し、13,847TEUと前年比9.4%の増となった。輸入は、電気機械等が減少した一方、化学工業品等が増加し、12,650TEUと前年比3.1%の増となった。
- ・ 貿易相手国（上位の相手国）については、フィリピン、韓国、アメリカ、タイが増加している。

～主要貨物の状況（出入区分別）～

<全体貨物>

（単位：トン）

外貨		H29	H28	増減率	内貨		H29	H28	増減率
輸出	紙・パルプ	128,584	120,719	6.5%	移出	水	108,441	106,796	1.5%
	木製品	26,553	20,339	30.6%		重油	69,754	67,472	3.4%
	金属くず	14,775	9,915	49.0%		木材チップ	12,220	4,680	161.1%
輸入	木材チップ	1,468,692	1,480,144	-0.8%	移入	石油製品	820,494	807,773	1.6%
	原木	197,465	247,994	-20.4%		セメント	319,050	372,669	-14.4%
	鉄鋼	40,047	31,887	25.6%		重油	135,692	164,092	-17.3%

<コンテナ貨物>

（単位：TEU）

		H29	H28	増減率			H29	H28	増減率
輸出	紙・パルプ	8,072	7,328	10.2%	輸入	木製品	2,151	1,916	12.3%
	木製品	2,294	1,964	16.8%		非金属鉱物	1,985	1,720	15.4%
	電気機械	838	718	16.7%		鉄鋼	1,649	1,393	18.4%

※ なお、今回発表する数値は速報値であり、後日、発表する数値と異なる場合がありますのでご了承ください。

※ 国際定期フェリーは、韓国航路に含みます。

※ TEUとは、20フィート（コンテナの長さ）換算のコンテナ取扱個数の単位です。